平成27年度要望事項の回答を報告

常議員会 議員総会 中心街の通行量調査結果を説明

当所では第383回常議員会・第243回議員総会を12月16日、商工会館で開催した。

福島会頭挨拶の後、入会希望者の承認について審議され、30名全員が承認された（本紙23ページ目に事業所名等掲載）。これにより、当所会員は4089名となった。

報告事項については、平成27年度当所要望に対する八戸市からの回答について、新規要望事項を中心に説明があった。この中で「人材確保に係る補助制度の創設」については、「厚労省・経産省・県等の動向に注視しながら研究する」との回答が、また「インバウンド対策の推進」については、「県や関係団体、受入事業者と連携を図りながら推進する」との回答が報告された。更に「八戸市の水産業復興ビジョンの実現に向けた取組の推進」については、「将来的な発展に向け、水産関係者との連携のもと取組む」との回答が示され、「㈱東日本大震災事業者再生支援機構の機能強化及び支援期間の延長による長期的な復興支援の実現」については、「同機構の機能強化と支援期間延長について、国や県に働きかけていく」との回答が報告された。続いて、㈱カリアック株式の日商への売却については、平成4年の出資承認からの経緯を説明し、了承を得た。

八戸市中心商店街通行量調査の中間報告については、今年度は、10月5日（日）と16日（月）の2日間にわたり実施（6日（日）は台風の影響で中止）したことが報告。2日間合せて対前年比4・2％（4601人）増の114938人の通行量があったことが説明された。その他、Buyはちのへ推進会議の横町俊明委員長から、「標語コンクールやマルシェ」等、本年度の同運動の事業経過が報告され、併せて運動啓発に係る理解と協力を求めた。

当所要望への回答等が報告

六日町側計画申請について了承

中活協で全体会議を開催

八戸市中心市街地活性化協議会（会長・福島哲男当所会頭）では12月16日、商工会館で全体会議を開催。

専門部会の活動についても報告された全体会議

専門部会の進捗状況についての報告がされた他、第2期八戸市中心市街地活性化基本計画の変更申請等について審議・了承された。

専門部会の進捗状況については「10月10日に店舗・オフィス見学相談会を開催し、多数の方々が訪れた」（空き床対策検討部会）、「駐車場機械化の進展に伴い、おんでカードリニューアルについて検討中」（交通アクセス検討部会）、「六日町の再開発に伴い、周辺整備に向け、ニーズ・マーケット調査を実施中」（花小路整備部会）等の報告がされた。

第2期計画については、㈱江陽閣で計画している六日町複合ビル整備事業において、「特定民間中心市街地経済活力向上事業計画」の経産大臣認定を申請することから、同計画について㈱江陽閣から、また、それに伴う基本計画の変更について八戸市からそれぞれ説明があり、了承された。

この申請で経産大臣認定を受ければ、中心市街地全体への波及効果をもたらす事業を展開することで、活性化のための様々な支援措置を活用することが可能となり、より一層、中心街の活性化が進展するものと期待されている。

「八戸らーめん」醤油を改良

1月10日から提供

八戸らーめん会（中川原俊雄会長）は12月18日、スープの素となる醤油を改良したニューバージョンの八戸らーめんの試食会を開催。

ニューバージョンの八戸らーめんを試食する関係者

1月10日から加盟店で提供予定。醤油に濃縮した煮干しエキスを混ぜ、醤油本来の味に加え、煮干し風味を強調した点が大きい。

試食会は「中国料理店・正華」で開催。中川原会長は「煮干し風味の強調された醤油スープで、八戸らーめんを更に盛り上げていきたい」と熱く語った。

また、同会では、加盟飲食店23店舗で八戸らーめんを食した方に抽選で景品が当たる「食べ歩きラリー」を2月中に実施する予定。